

孫石熙（ソン・ソッキ）著 権学俊（クオン・ハクジン）訳

場面

報道の現場から見つめた韓国社会

サピエンティア 80／四六判上製 384 頁

定価 3,300 円（本体 3,000 円+税）／ISBN978-4-588-60380-8 C0336



真実を、すべての真実を、ひたすら真実だけを。

韓国の李明博・朴槿恵保守政権下でメディアへの圧力や介入が強まるなか、看板ニュース番組のアンカーはいかに権力と戦い、真実を報じたのか。セウォル号沈没事故、朴大統領の弾劾、#MeToo運動など、社会を大きく揺るがす事件が立て続けに起きるなか、苦悩しながら信念を貫くジャーナリストのエッセイ。韓国で大反響を呼んだ書、ついに邦訳。訳者による丁寧な注と解説を付す。

おもな目次

日本語版への序文

はじめに

第I部 「アジェンダ・キーピング」を考える

第1章 前日譚：2012年Sグループ労使戦略

第2章 その船、セウォル号

第3章 タブレットPCが引き金となったパンドラの箱

第4章 大統領選挙は花火ではない

第5章 避けて通れない#MeToo

第6章 私たちは平壌に行かなかった

第II部 ジャーナリズムはどうあるべきか

第1章 公営放送から総合編成チャンネルへ

第2章 ジャーナリズムから運動へ？

第3章 レガシーからデジタルへ

第4章 コーナーを見渡すと新しいジャーナリズムが見える

第5章 ジャーナリズムのより善き仕組みを目指して

おわりに 『ニュースルーム』を離れる

訳者解説

著者

孫石熙（ソン・ソッキ）

1956年、大韓民国ソウル生まれ。1984年に韓国の公共放送局MBCにアナウンサーとして入社。アンカー等として活躍後、2013年にJTBCに移籍。報道部門社長、統括社長などを歴任。2005年以来、約20年にわたり、韓国で最も影響力があり信頼度の高いジャーナリスト第1位に選ばれ続けている。現在は立命館大学産業社会学部客員教授を勤めながら、MBCの時事トーク番組『孫石熙の質問たち』をシーズン制で担当。

訳者

權学俊（クオン・ハクジン）

1972年、大韓民国忠州市生まれ。立命館大学産業社会学部教授。著書『朝鮮人特攻隊員の表象——歴史と記憶のはざまで』（法政大学出版局、2022年）ほか。

〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-3 法政大学出版局 FAX 03-5214-5542

注

サピエンティア 80 場面 報道の現場から見つめた韓国社会 定価 3300 円

書店名

文

ご芳名

書

ご連絡先

冊